

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月26日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都中央区八重洲2-7-15

氏名 株式会社メディセオ
代表取締役社長 長福 恭弘

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社メディセオ 代表取締役社長 長福 恭弘				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都中央区八重洲2-7-15				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	55 その他の卸売業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	150 台

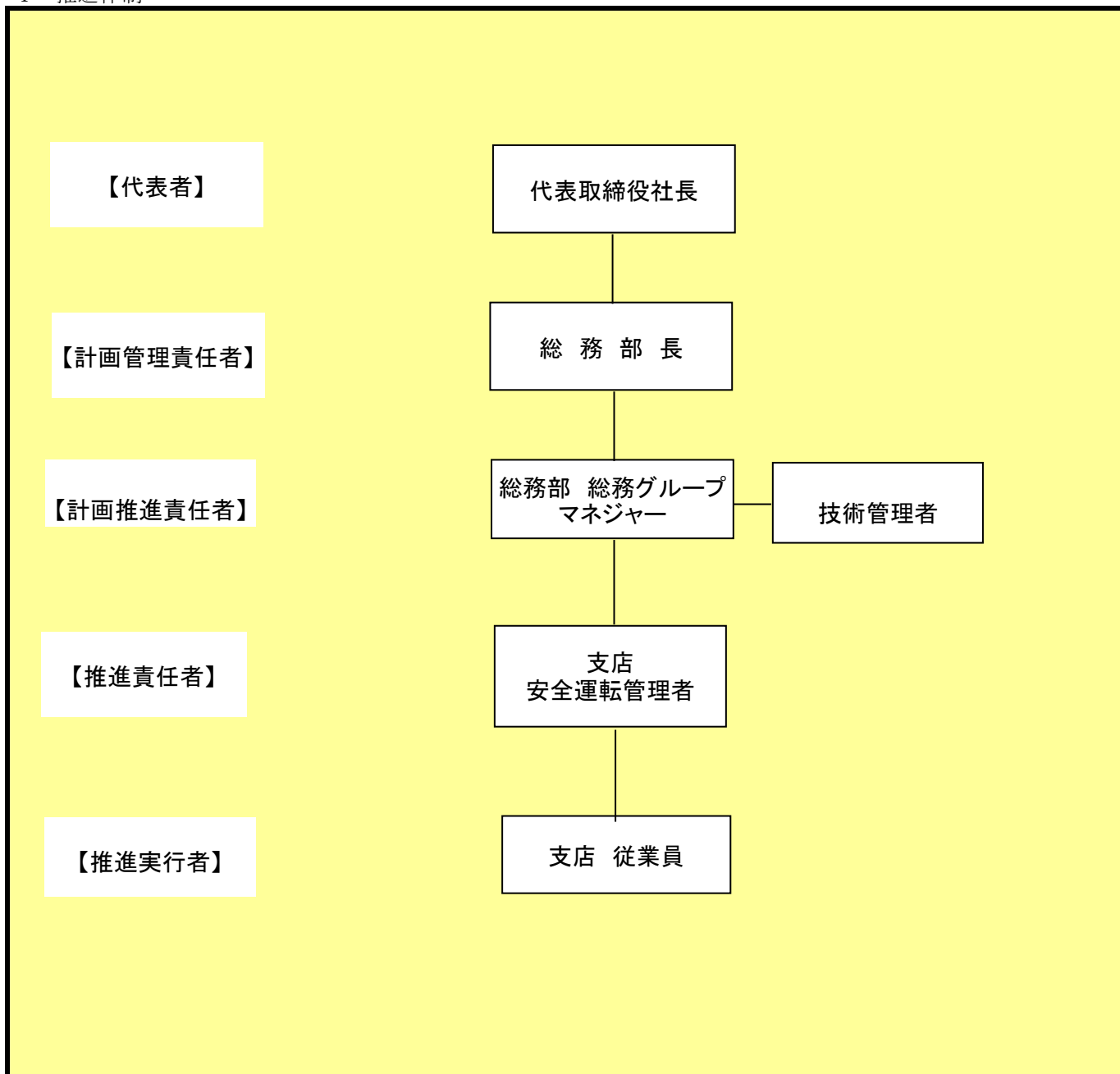
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

1. 弊社では、従来より省エネ法をはじめとする環境に関する法令を順守し、世界基準で環境負荷低減に努めている。横浜市地球温暖化対策計画についても全社での取組の一部として積極的な取組を実施する。
2. 目標の達成のためには、現在全社にて取組んでいるアイドリングストップ運動をはじめとするエコドライブを更に徹底させるとともに、低燃費車などの二酸化炭素排出量の少ない自動車の導入を推進する。
3. 低燃費車導入方針については、車両リース満了毎車両入替時に軽自動車への移行や低燃費車の積極導入を実施し、計画期間中を通して温暖効果ガス抑制に努める。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社メディセオ 東京本社 総務部
	所在地	東京都中央区八重洲2-7-15
	閲覧可能時間	午前9時～午後5時
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	942	t-CO ₂			基準原単位	1.41	t-CO ₂ /億円
	調整後	942	t-CO ₂			目標原単位	1.37	t-CO ₂ /億円
目標年度 (2018年度)	目標排出量	914	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	2.8 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>物流量の増加に伴う車両走行距離の増加が、温室効果ガスの排出量増加の要因となるが、当社は、「元気と、かがやき」をお届けする企業として、環境に配慮した下記活動を展開、推進することで、基準年度の約3%の削減を目標に設定。</p> <p>①エコドライブの推進 ②低燃費車の導入 ③軽自動車への切替 ④配送方法の更なる効率化を検討（所謂、タクシー物流からバス物流への推進）</p> <p>尚、原単位には、排出量と密接に関連のある売上高を選択する。</p>							
事業者全体としての目標等								
第一年度 (2016年度)	排出量	882	t-CO ₂	削減率	6.4 %	排出原単位	1.28	t-CO ₂ /億円
	調整後	882	t-CO ₂	削減率	6.4 %		削減率	9.2 %
目標等の達成状況及び説明	<p>平成28年度は年間走行距離・給油量ともに1台当たりの数値の大きかったトラックを15台一斉に新車切替。昨年度は50.6%であった低公害低燃費車導入率が63.4%まで向上。結果、燃費改善等の影響を受け、全体の排出量削減も達成。引き続き、継続的な取り組みであるエコドライブの推進を図り、削減に努める。</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	874	t-CO ₂	削減率	7.2 %	排出原単位	1.21	t-CO ₂ /億円
	調整後	874	t-CO ₂	削減率	7.2 %		削減率	14.2 %
目標等の達成状況及び説明	<p>2017年度は、2016年度に引き続き年間走行距離・給油量ともに1台当たりの数値が大きかったトラックを新車に切り替えし、環境負荷の低いトラックに全て切り替え完了。これにより、低公害低燃費車導入率が67.0%まで向上した。結果、燃費改善等の影響を受け、全体の排出量削減も達成。また、売上高増加に伴い、排出原単位の削減も図れた。引き続き、継続的な取り組みであるエコドライブの推進を図り、削減に努める。</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	775	t-CO ₂	削減率	17.7 %	排出原単位	1.02	t-CO ₂ /億円
	調整後	775	t-CO ₂	削減率	17.7 %		削減率	27.7 %
目標等の達成状況及び説明	<p>2018年度は、これまでのトラック入替需要が一巡し、また全体でも新車導入が13台と少ないものとなった。低公害低燃費車導入率は67.5%。しかしながら、過去から積極的に環境負荷の低い車両を導入し続けていたことにより、全体の排出量を削減することに成功。また、売上高増加に伴い、排出原単位の削減も図れた。引き続き、継続的な取り組みであるエコドライブの推進を図り、削減に努める。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>計画3ヶ年でのトピックスは、年間走行距離・給油量ともに1台当たりの数値が大きかったトラックを全21台新車に切り替えし、全体の排出量削減に大きくつながったこと。その他の通常車両についても、新車への入替サイクルを見直すことで、常に環境負荷が小さく、燃費の良い車両を入れ続けたことも一因。原単位については、計画期間中に売上高の増加があり、こちらも同時に削減につながった。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車	24	290	22	191	25	284	25	225
小型貨物自動車	103	330	108	553	105	527	107	487
大型バス	0	0	0	0	0	0		
マイクロバス	0	0	0	0	0	0		
乗用自動車	16	25	16	25	17	28	18	23
合計	143	645	146	769	147	839	150	735
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	50.6	%	64.9	%	67.0	%	67.5	%

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	3 機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	4 照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	5 エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	6 各種図面の整備	個別票対象事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	7 外気導入量の適正管理	個別票対象事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	8 フィルター等の清掃	個別票対象事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	11 室内温度の適正管理	事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	12 地下駐車場の換気管理	事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	13 照明設備の高効率化	事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	14 事務所機器の待機電力管理	事業所		/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	15 機器性能管理	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		
	17 燃焼設備の空気比管理	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		
	18 排出ガス温度の管理	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		
	20 工業炉表面の断熱強化	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		
	22 コンプレッサの吸気管理	設備			(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度					(設備の種類) /	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第3号該当事業者	23 推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	24 自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	—	166/166	年度			実施済	—	153/153	年度			実施済	—	160/160	年度		
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施済	—	166/166	年度		運転日報を作成し、給油量欄を設置。	実施済	—	153/153	年度			実施済	—	160/160	年度		
	26 エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	27 自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		1.82 %		775		270.1		256.0		14					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	環境負荷の高かったトラックを新車に切り替え	神奈川 ALC	2017	21台の冷凍トラック全てが低公害車の指定区分無し。	軽油	105	kl	270.1	21台の冷凍トラック全てが「平成21年基準優低公害車」。	軽油	99	kl	256.0	14.1	211,096 千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1					
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	・2005年度よりクールビズ・ウォームビズの実施。・一部建屋で省エネのため屋上緑化を実施。・消費電力の削減への取組み実施。（インバーター照明や人感センサーの導入、照明器具の間引き、撤去、看板等のライトアップとりやめ、エレベーターの使用制限）・機密書類リサイクルシステムの導入。
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	・2005年度よりクールビズ・ウォームビズの実施。・一部建屋で省エネのため屋上緑化を実施。・消費電力の削減への取組み実施。（インバーター照明や人感センサーの導入、照明器具の間引き、撤去、看板等のライトアップとりやめ、エレベーターの使用制限）・機密書類リサイクルシステムの導入。
第二年度実績	・2005年度よりクールビズ・ウォームビズの実施。・一部建屋で省エネのため屋上緑化を実施。・消費電力の削減への取組み実施。（インバーター照明や人感センサーの導入、照明器具の間引き、撤去、看板等のライトアップとりやめ、エレベーターの使用制限）・機密書類リサイクルシステムの導入。
第三年度実績	・2005年度よりクールビズ・ウォームビズの実施。・一部建屋で省エネのため屋上緑化を実施。・消費電力の削減への取組み実施。（インバーター照明や人感センサーの導入、照明器具の間引き、撤去、看板等のライトアップとりやめ、エレベーターの使用制限）・機密書類リサイクルシステムの導入。

14 実施状況等に対する自己評価

環境負荷が高く、温室効果ガス排出量が多かったトラックを直近3年間で全21台新車への代替え実施。
